

経営戦略委員会だより Vol.2

1.経営戦略委員会開催概要

日時：平成28年12月19日（月）

15:00～17:00

場所：日本プロゴルフ協会

委員：

日本プロゴルフ協会 会長 倉本昌弘

日本プロゴルフ協会 副会長 井上建夫

日本プロゴルフ協会 理事 紺村俊徳

全日本ゴルフ練習場連盟 加藤賢治

全日本ゴルフ練習場連盟 川崎益彦

日本ゴルフ場経営者協会 大石順一

矢野経済研究所 三石茂樹

事務局 根本修一(日本プロゴルフ協会)

山之内裕一(日本プロゴルフ協会)

オブザーバー 水越孝(矢野経済研究所)

油井智(矢野経済研究所)

2.報告・検討事項

倉本会長からの挨拶で開会

各練習場より「PGA ゴルフデビュープログラムの現状報告」

・各練習場より、デビュープログラム参加者や練習場スタッフの意見、プログラムの告知状況の報告がありました。

・また事務局より、デビュープログラムの告知に関して、デビュープログラムのフェイスブックページを立ち上げたこと、また、ゴルフマジを展開しているリクルートライフスタイルに協力していただき、東京、神奈川、大阪在

住のゴルフマジ登録者に対して、デビュープログラムの案内をしていただいたことが報告されました。

三石委員「デビュープログラムの実績把握と修正計画案について」

・三石委員より、デビュープログラムの実績把握と修正計画案について、資料に基づき報告がありました。

・今後の修正点として、「ターゲットの明確化」と「ターゲットに対する訴求方法の明確化」が必要であるという考えが示されました。

・この意見に対し各委員から意見があがり、それらの意見を踏まえ、今後、事務局と矢野経済研究所で打合せを行い、次回の委員会までにターゲットの絞り込みと、ターゲットに対応した戦略の案を作成することになりました。

油井氏「「golferセグメンテーション調査」の調査結果概要について」

・矢野経済研究所の油井氏より、11月末から12月上旬にかけて実施した「golferセグメンテーション調査」調査結果の概要について説明がなされました。

・続いて三石委員より、今回の調査結果をゴルフ業界内に無償で開示し、業界内でgolferの満足度を高める施策を考えてもらうことを計画しているとの意見が述べられました。

・三石委員から提案された調査結果の開示については、意義なく承認がなされました。

倉本会長「タスクフォース会議について」

・倉本会長より、タスクフォース会議について報告がありました。

・タスクフォース会議は経営戦略よりも議題を絞って検討していく場であることが改めて示されました。また、会議に参加しているゴルフメーカー2社とPGAで、ハイセグメントゴルファー戦略のうち「国内富裕層対象」と「インバウンドゴルファー対象」のビジネスモデルを考えていくという方針が示されました。

・同会議では話し合いを進め、ある程度進んだ段階で経営戦略委員会の案件として取り扱うことを予定している旨報告がありました。

事務局「大体連との提携に関して」

・事務局より、大体連との提携に伴う試験的施行として、6月に続き11月8日に武蔵野美術大学においてPGAのティーチングプロによるゴルフ授業が行われ、2回の授業でそれぞれ24名の学生に対して指導を行った事の報告がなされました。

・今後、大学ゴルフ授業を充実させることを目的として、授業用のカリキュラムならびに教則本、先生用の指導マニュアルの作成に取り掛かっており、来年3月に行われる大体連の指導者研修会で発表できるよう作業を進めていること、この指導者研修会の実技部分は主に井上副会長が担当し、倉本会長も講演とデモンストレーションを行う予定となっていることが報告されました。

1.経営戦略委員会開催概要

日時：平成29年2月8日（水）

11:00～15:00

場所：日本プロゴルフ協会

委員：

日本プロゴルフ協会	会長	倉本昌弘
日本プロゴルフ協会	副会長	井上建夫
日本プロゴルフ協会	理事	紺村俊徳
全日本ゴルフ練習場連盟		加藤賢治
全日本ゴルフ練習場連盟		川崎益彦
日本ゴルフ場経営者協会		大石順一
矢野経済研究所		三石茂樹
事務局	根本修一(日本プロゴルフ協会)	
オブザーバー	油井智(矢野経済研究所)	

2.報告・検討事項

倉本会長からの挨拶で開会

各練習場「デビュープログラムの現状報告」

- ・各練習場より、プログラム参加者や練習場スタッフの意見、プログラムの告知状況の報告がありました。
- ・関西では現在プログラム参加者専用のコースレッスンが設定できておらず、東条の森のPGAゴルフアカデミーでの対応の検討が提案されました。
- ・関東では、デビュープログラムの運用にあわせ既存スクールのサービスを修正していること、未経験者にゴルフ場でゴルフを体験してもらい、デビュープログラムに誘導するような企画も考えていることが報告されました。
- ・実施練習場からの意見に対し委員で検討した結果、コースレッスンを委託できるゴルフ場を関西エリアで検討すると共に、PGAアカデミーでのコースレッスン引き受けについて事務局にて検証することとなりました。

また、プログラム申込前にまずゴルフ場を体験してもらう「ゴルフ場遠足ツアー（仮称）」の実施についても検討していくこととしました。

三石委員「デビュープログラムのターゲット選定について」

- ・三石委員より、デビュープログラムのターゲット選定に関して説明がありました。
- ・前回委員会の意見を踏まえ再検討した結果、30歳台後半～40歳台後半の男女を主ターゲットとすることが現実的との結論に至ったこと、サブターゲットとして若年齢層を対象とした各企業の取り組みとの連携を検討していると報告がありました。
- ・女性に対しては独自の戦略を練っていく必要があること、女性のプログラム参入促進策の立案、実行を目的とした女性メンバーを加えた「女性向け戦略立案分科会（仮称）」の立ち上げが提案されました。
- ・三石委員から提案のあった、女性メンバー2～3名を加えた分科会の設置については意義なく承認がなされました。なお、女性メンバーの人選については公募を前提に検討することとなりました。

三石委員「デビュープログラムのフェイスブック（FB）ページについて」

- ・三石委員より、1月13日からFBへの投稿を始め、週2回程度、新しい情報を掲載しており、2月7日の時点で「294 いいね」という状況となっている事が報告されました。
- ・1月31日に倉本会長のメッセージ動画を配信したところ反響が大きく、「いいね」がかなり増えたこと、目標としては2月末までに「400 いいね」を目指したいとの考えが示さ

れました。

・今後の方針として、2月末までは業界関係者の理解を深めるためのコンテンツ配信を中心とし、その後は対象層への情報の伝播と拡散がカギとなるため、コンテンツの充実に加え有料広告なども検討していきたいと考えていることが報告されました。

・事務局より、デビュープログラムで指導に当たるティーチングプロの認定システムや技術についての紹介記事も配信してもらいたいとの依頼を行っている旨が報告されました。

三石委員「ゴルフアセグメンテーション調査」調査結果開示方法について」

・三石委員より、現在作成中の調査結果公開用資料について、最終的に100ページ超という膨大な量になる見込みで資料の整理に時間がかかっていること、また調査結果の開示方法について委員による検討が求められました。

・これに対し事務局より、PGAの公式ホームページや公式FBページを活用して告知したいと考えている旨が述べられました。

・また、委員で検討した結果、ホームページ上では準備でき次第早い段階で12ページ程度のサマリー版を公開し、完全版(約100ページ)を求める方に対してはPGAの事務局に問い合わせいただき、事務局よりメールで配信することとなりました。

・調査結果は完全版も含め業界内外に広く無償で提供すること、提供を受けた企業は同データを活用した「既存ゴルファー満足度向上のための具体的戦略」を委員会と共に立案、実行していただくこととなりました。

倉本会長ほか「タスクフォース会議について」

・倉本会長より、1月12日に開催されたタスクフォース会議について報告がありました。

・また事務局より、タスクフォース会議の位置づけは経営戦略委員会の分科会的なものであること、このタスクフォース会議の今後の討議テーマを、次回(2月23日)の会議までに各委員が考え、会議の中で具体的に検討する予定であることが報告されました。

事務局「全国大学体育連合(大体連)との提携について」

・事務局より、大学でのゴルフ授業の充実を目指して現在、井上副会長とともに授業のカリキュラムと、大学の講師がカリキュラムどおりに指導するための指導マニュアル、授業を受ける学生用の教則本の作成に取り掛かっていること、教則本については間もなく完成の予定である旨の報告がありました。

1.経営戦略委員会開催概要

日時：平成29年4月4日（火）

15:00～17:00

場所：日本プロゴルフ協会

委員：

日本プロゴルフ協会	会長	倉本昌弘
日本プロゴルフ協会	副会長	井上建夫
日本プロゴルフ協会	理事	紺村俊徳
全日本ゴルフ練習場連盟		川崎益彦
日本ゴルフ場経営者協会		大石順一
矢野経済研究所		三石茂樹
事務局	根本修一(日本プロゴルフ協会)	
	山之内裕一(日本プロゴルフ協会)	

2.報告・検討事項

倉本会長からの挨拶で開会

各練習場「PGA ゴルフデビュープログラムの現状報告」

・各練習場より、プログラム参加者や練習場スタッフの意見、プログラムの告知状況の報告がありました。

・大阪会場からは、スクールチケットの消化率が低いこと、参加申込に来場された方がすぐにレッスンに参加できないことが課題として挙げられました。また、練習場スタッフから提案されたプログラムの改善案の説明がありました。

・東京会場からは、デビュープログラム参加者の増加に対応するために対象クラスを増やす計画があること、参加者の評価が高い要因として、「かっこいいクラブが使用できること」、「プロと一緒にコースの案内をしてもらえること」、「PGA という団体に対する安心感」があることが説明されました。

・実施練習場からの意見ならびに意見交換を

踏まえ、今後、拠点練習場の拡大を検討していくこととなりました。なお、拠点練習場の場所と候補については、既に参加の意向をいただいている練習場を中心に、地域やテストマーケティングとして必要な拠点数などを、矢野経済研究所と事務局で検討して次回の委員会に提案することとしました。

三石委員「2016年6月～11月の活動実績報告」

・三石委員より、2016年6月から11月までの6ヶ月間における、矢野経済研究所が行ったデビュープログラムに関する活動、ハイセグメントゴルファー戦略策定に関する活動について、資料に基づき実績報告がありました。

・事務局からは、スクール未経験のゴルファーに対する追加調査の実施が提案されました。また、同様の提案がタスクフォース会議においてもなされていることが報告されました。

・倉本会長からは、ゴルファーのレッスン経験に関する調査に加え、PGA会員のレッスン実績、収益性に関する調査の提案がなされました。

事務局ほか「矢野経済研究所に対する活動実績評価について」

・事務局より、昨年6月からのPGAと矢野経の契約においては、上期（6月～11月）と下期（12月～5月）に分けて、それぞれ行った業務に対して評価を行うこととなっていること、上期分の業務について経営戦略委員会で評価し、理事会に報告した上で、成果報酬（最大300万円）を支払いたいと考えていることが報告されました。また矢野経済研究所からは自己評価として、5項目全てについてA評価（達成度75%～100%）とする

旨の評価表が提出されていることの説明がありました。続いて矢野経済研究所の油井氏より、資料に基づきその内容について概要説明がなされました。

・倉本会長より、デビュープログラムのこれまでの実績については、集客実績に対する評価ではなく、矢野経済研究所が行ってきた業務に対する評価であると考えているので、私としては全てA評価でよいとの意見が述べられました。

・これらの報告を受け各委員で検討した結果、経営戦略委員会として5項目全てをA評価とすることとしました。

事務局「タスクフォース会議からの提案について」

・事務局より、3月27日に行われたタスクフォース会議より、以下の2件の提案が行われたことが報告されました。

・経営戦略委員会が実施した「ゴルファーライフスタイル調査」の補完調査として「レッスン非受講者に対するフォーカスインタビュー調査」を実施すること。

・業界活性化に対する熱意や具体的なアイデアを持つ実施主体をPGAが呼び込み、施策の実行につなげる「業界活性化に向けてのアイデア公募プロジェクト」を実施すること。

・これらの提案については、次回以降の経営戦略委員会において検討することとなりました。

事務局「全国大学体育連合（大体連）との提携について」

・事務局より、3月2日～3日の2日間、首都大学東京で開催された「大学体育指導者養成研修会」において、井上副会長が大学ゴル

フ授業用の指導カリキュラムと指導マニュアルについての講習と実技指導を行ったこと、倉本会長がデモンストレーションと「ゴルフの魅力とは一人を育てるカー」をテーマに講演を行ったことが報告されました。



公益社団法人日本プロゴルフ協会 (The Professional Golfers' Association of Japan) 〒105-0002 東京都港区愛宕 1-3-4
愛宕東洋ビル2階